

# 2012 年度 実践総合農学会 シンポジウム開催案内

2012 年 7 月 28 日(土)

《シンポジウム》

13 : 00~17 : 30

場所：東京農業大学 1 号館 231 教室（12:30 受付）

**テーマ： 東日本大震災からの復興と農山漁村の向かう道**

## ◆◇ ねらい

東北地方太平洋沿岸部を襲い、未曾有の大被害を与えた東日本大震災の発生から、1 年半近くが経過しました。この間に、被災地の住民を中心として、地方自治体、県さらには国の努力によって復興の過程を歩み、これからも復興へ向けた懸命な努力が続けられることでしょう。

ところで、被災地のそれぞれにおいては、大地震前の与えられた自然的条件ならびに社会・経済的諸条件が大きく異なることから、大地震がもたらした災害の状況とその性質は大きく異なり、また復興の条件や取り組み方、支援の受け方、さらには取り組みの過程と方向そして今後の課題にはさまざまな違いがあるものと考えられます。被災地の主要な産業である農林漁業の復興プロセスや課題も大きく異なることはいうまでもありません。さらに、福島県では地震や津波の被害に加えて、放射能汚染による風評被害という地震や津波の被害とは性質が大きく異なる深刻な問題に直面しています。

そこで本シンポジウムにおいては、被災された県や地方自治体がこれまで取り組んできた種々の復興に向けた諸活動の実際および今後に残された諸課題について、4 名のパネリストに話題を提供していただきます。このシンポジウムを通じて復興に関わるプロセスの諸相を相互に出し合い比較することによって情報を共有し、今後の復興に向けた産官学連携のあり方を論じ深めていく機会にしたいと考えています。

なおシンポジウムの前には、NHK 解説主幹（食料・農業問題、農政担当）の合瀬宏毅氏より、「報道から見た被災地の復旧、復興課題」と題した基調講演を行います。合瀬氏には、被災地における農林漁業と農山漁村の復興の過程および対策と今後の課題につき、マスコミの目を通して語っていただくことにしております。

## ◆◇ プログラム

学会長あいさつ：	実践総合農学会会長	13：00～13：09
開催校あいさつ：	東京農業大学長	13：09～13：15
基調講演：	NHK 解説主幹 合瀬宏毅氏 「報道から見た被災地の復旧、復興課題」	13：15～13：55
シンポジウム：		
趣旨解題	座長：東京農業大学教授 門間敏幸	14：00～14：10
第1報告	大船渡農業改良普及センター所長 古川勉氏 「被災地における農業復旧の取り組みについてー陸前高田市の事例ー」	14：10～14：45
第2報告	東京農業大学教授 両角和夫氏 「岩手三陸沿岸地域における地域環境ビジネス創出と震災復興ー陸前高田市での取り組みについてー」	14：45～15：20
第3報告	福島県農業総合センター経営・農作業科長 薄真昭氏 「原発事故による農業被害とその対応ー風評被害と安全・安心への取り組みー」	15：20～15：55
第4報告	東京農業大学教授 林隆久氏 「グローバルな林業復興の研究をめざして」	15：55～16：30
休憩		16：30～16：45
総合討論：		16：45～17：25
座長総括：		17：25～17：30

<入場無料>

<お問合せ先> 実践総合農学会事務局（東京農業大学総合研究所内）  
東京都世田谷区桜丘 1-1-1  
Tel：03-5477-2532 Fax：03-5477-2634  
E-mail：nri@nodai.ac.jp